

(株)エル・スマイルの社会貢献

トクホの実績を活かし高齢者の健康維持に

医療専門家の講演会と参加者の測定実施へ

トクホ（特定保健用食品）といえば黒烏龍茶、十六茶、青汁などが知られる。高血圧、体脂肪、血糖値の高い人たちに最適だが、この食品、メーカーに代わって、第三者の研究機関の大規模臨床試験を通して、消費者庁長官の許可を得るもの。

この研究機関のパイオニアとして実績を誇るのが(株)ケイ・エス・オー（小森美加代表取締役）だ。今回、十五年間の経験を活かして高齢者の健康長寿に貢献をと、新たに(株)エル・スマイルを立ち上げ、第一回健康フェアを開催。その内容、動機と今後の目標について小森代表取締役が聞いた。

九月二十六日に、東京・板橋区の高島平区民館ホールで、第一回「高島平いきいきフェア」を開催され大盛況でした。

小森 三百人を超える高齢者とその家族の方々が参加されました。日本生活習慣病予防協会理事長・池田義雄博士の講演と、各種測定と栄養相談を無料で提供しました。



(株)ケイ・エス・オー 小森美加代表取締役

池田博士は内科学、健康医学が専門です。

小森 池田博士は、日本人の肥満症、糖尿病、高血圧、痛風、骨粗しょう症といった生活習慣病について具体的に解説し、その予知と予防について、ご自身の体験をふまえて話してくださいました。

生活習慣改善が健康習慣の確立へ

さらに、元気で長生きのために「一無、二少、三多」を強調されました。一無は、無煙つまり禁煙のすすめ、二少は、腹八分目の少食と少酒のすすめ、三多は、多動、多休、多接のすすめで、体を多く動かすことで、十分な睡眠がとれる。こうした日々の実践が生活習慣の改善、健康習慣の確立につながるお話でした。高齢者



高島平団地の俯瞰図(高島平新聞提供)

の方々には、一時間半の講演をしつかりとお聞きいただいたようです。講演会の後、昼食を準備され、続いて参加者を対象に各種測定をされました。

小森 池田博士の指導レシピによる高齢者の健康を考慮したお弁当を全員分準備し、希望される方々に手渡し、その後、骨密度、血管年齢測定や筋肉・脂肪測定を実施し、栄養士による高齢者の食事に関する栄養相談も受けました。

(株)エル・スマイルの健康増進プラン

トクホ臨床試験受託機関の経験を若年・高齢者の健康に貢献

無料健康長寿セミナー・企業の無料健康研修を開催

最近、消費者の健康志向の高まりとともに特定保健用食品(トクホ)への注目が集まり、食品・飲料メーカーは、矢張り茶飲料、青汁、炭酸飲料等の新商品を発売している。

一方、アベノミクスの一環として健康食品の効能表示をメーカーの試験結果によりメーカーの責任で行えるようにしようということが検討されている。しかし、メーカーに代わって第三者臨床試験受託機関(以下、第三者機関)の臨床試験を通し、消費者庁長官の許可を得て発売となるトクホは第三者機関からチェックを受けているということで消費者の信頼も高まっていくと予想される。

この第三者機関として大手食品・飲料メーカー約三十社から委託を受けるなど十五年間の実績と信頼を誇るのが(株)ケイ・エス・オー(小森美加代表取締役)だ。

同社は一昨年(株)エル・スマイルを立ち上げ、臨床試験の実績を活かし、高齢者の無料健康長寿セミナーや企

業への無料健康研修を実施し好評を博している。

(株)ケイ・エス・オーは、食品・飲料メーカーから、新商品の許可取得のための試験依頼を受ける、その用途に適した医療機関で実施する。医療機関では人権保護の為、医師、医療専門家、弁護士などで構成される倫理委員会を立ち上げ、審議をパスすれば、ヒトの臨床試験を実施し、そこで安全性や有効性が科学的に証明されれば、消費者庁長官に申請し許可を取得する。この一連の手続きを担うのが同社の業務という。



参加者への無料健康相談(高島平新聞提供)

ル・スマイルを立ち上げ、高齢者向けの無料健康長寿セミナーを東京都・板橋区の高島平団地で開催。高齢化が四一%を占める同地域の高齢者対策として注目を集めている。

昨年九月に開催された第一回「高島平いきいきフェア」では、(株)日本生活習慣病予防協会理事長の池田義雄氏が「元気で長生きのための知恵と習慣」について講演。続いて十二月には、福岡大学スポーツ科学部の田中宏暁氏が「歩くスピードで走るスロージョギングで若返ろう!」について、今年三月には、日本老年学会評議員・神経内科専門医の米山公啓氏が「脳が若返る生活習慣」について講演。著名人の講演とあって毎回、約三百人が参加し、講師との質疑応答や管理栄養士による無料健康相談に長蛇の列ができる盛況ぶりだ。

同社はセミナー終了後、食品開発モニターの趣旨を説明し、参加者に食品開発モニターの協力を依頼。健

社員のための健康と栄養セミナー

さらに、企業の三十年代、四十代の働き盛りの社員に頻発する痛風、糖尿病、脳梗塞等は、企業が実施する年一回の健康診断では、充分に対応できないとの声にこえ、企業向けの「健康・栄養に関する社員研修」の開催と「健康食品類の試験モニター参加」を提案している。

健康・栄養に関しては、①最新の栄養学で管理する食生活②職業別かかりやすい生活習慣病と予防③健康と仕事効率化について企業を訪問し管理栄養士や専門家が無料でセミナーを開催している。

健康食品類のモニターについては、参加する社員は、①検診では対応していないより詳しい検査を受けられる②無償提供される健康食品類を摂取できる③栄養士による食事管理を受けられる―こうした内容の社員研修を受けた企業からは、社員の健康維持に、臨床試験の実績が活かされているという評価が寄せられている。今後もその規模を拡大していくとしている。

高齢者対策に注目集める

(株)ケイ・エス・オーは、こうした健康と食品に関する高度な経験を社会貢献に活かそうと一昨年、(株)エ